

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP

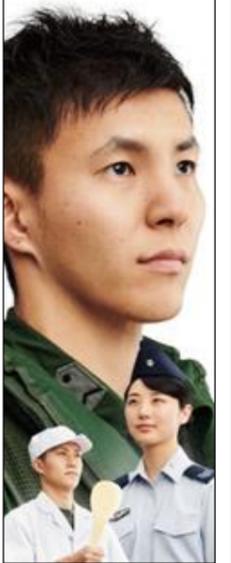


長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

国家を守る、
公務員。
自衛官募集中



鹿町中学校で職業講話

海自の仕事を知りやすく

長崎地本佐世保出張所（所長 田代教1等海尉）は、9月10日（木）佐世保市立鹿町中学校において、海上自衛隊佐世保地方総監部の支援を受け職業講話を行いました。講話は、自衛隊の仕事について生徒にわかりやすく説明し、職業に対する考えを深めさせることを目的として学校側から要望されたものであり、主に海上自衛隊の艦艇部隊、航空部隊の職務内容について実施しました。



た、管理部人事課に勤務する森3曹は、哨戒機（P-3C）に航空電子整備員として搭乗した経験を持ち、クイズ方式で新旧哨戒機（P-1、P-3C）の紹介を行う等、航空関係の職種について詳しく説明しました。生徒たちは「らっぱが格好良かった！」「手旗信号は複雑

国見高校が陸・海自衛隊で

インターンシップ

長崎地本島原地域事務所（所長 有山泰斗3陸佐）は、10月15・16日の2日間、海上自衛隊大村航空基地及び陸上自衛隊大村駐屯地で実施されたインターンシップに長崎県立国見高校の2年生1名を引率しました。

初日、海上自衛隊大村航空基地では、部隊の概要説明に続き、航空機の運航や整備、それを支える救難車両の運用、気象観測や航空管制についての研修など航空基地ならではの内容で実施されました。

2日目、陸上自衛隊大村駐屯地では、部隊の概要説明、気を付けや敬礼動作などの基本教練を実習したのちに軽装甲機動車と高機動車の搭乗を体験、午後からは心肺蘇生法やAEDの取り扱いについて



の実習などが実施されました。参加した学生は、普段接することのない自衛官との交流に緊張した面持ちでしたが、打ち解けてくると積極的に質問を行うなど熱心に実習に取

予備自衛官5日間訓練

親子で出頭

長崎地本（本部長 西田洋一郎1海佐）は、10月9日（金）から13日（火）までの間、大村駐屯地における予備自衛官5日間招集訓練支援を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で出頭者数が伸び悩む中、今年度最多の131名が招集訓練に出頭し、爽やかな秋空の下訓練に励みました。今回、揃って招集訓練に出頭した吉田治予備曹長と吉田豊予備3曹親子に話を聞くことができました。



吉田治予備曹長「毎年、親子で訓練に出頭するのを楽しみにしていて、射撃ではぜひ勝負したいと思っています。30年以上お世話になった自衛隊に恩返しできるという思いで予備自衛官に志願したのですが、災害等で招集されればぜひ出頭したいと考えています。」

り組み、「入隊希望の海上自衛隊の仕事を経験できて良かった」と充実した様子で話していました。

島原地域事務所は、今後もインターンシップを通じて自衛隊に様々な仕事があることを学生に認識してもらい、将来の選択肢の1つにしてもらえるよう引き続き各学校に案内していきます。（島原地域事務所）

吉田豊予備3曹「平成27年3月に自衛官を退職すると同時に、誰かの役に立ちたいという思いから予備自衛官に志願しました。普段は仕事をメインとしながら、有事の際には微力ながら国民の皆様のお役に立てればと思っております。」

話を伺う間も、終始笑いが絶えず親子の良さが伝わってきた。また予備自衛官としての自覚と誇りを持って訓練に臨む姿がとても頼もしく感じられました。

長崎地本は、予備自衛官の活躍の機会を増大している現状を踏まえ、この親子のような高い志を持った予備自衛官の勢力確保と円滑な訓練支援に引き続き努めてまいります。（予備自衛官室）

自衛官
募集案内

陸上自衛隊高等工科学校生徒：受付期間 11/1～R3/1/6、1次試験 R3/1/23
自衛官候補生：年間を通して受付中

再就職者の早期離職防止へ

定年退職予定隊員インターンシップ

長崎地本（本部長 西田洋一郎 1海佐）は10月26日（月）30日（金）、長崎県内で定年退職予定隊員に対してインターンシップを実施しました。本施策は、企業における退職前のインターンシップを実施し、再就職先となる職域の拡大、再就職者の早期離職防止を図るとともに、インターンシップ受入企業に対し自衛官の有用性を周知させることを目的に実施しています。

長崎県内の8社の企業の協力を得て、県内外から9名の隊員が参加しました。各企業では自衛隊OBとの懇談もあり、隊員から「現職時にやっておいた方がいいことは？」、



インターンシップの様子
(松山ファーム)

「自衛隊での経験が生かせる機会はあるのか？」などの質問がされ、自衛隊OBがそれぞれ親身にアドバイスし、隊員の再就職に対する不安解消に役立ちました。

最終日には参加者と地本担当者で意見交換会が実施され、良好なところや改善を要するところなど様々な意見が出されました。また、参加者からは「実際に体験してみたい」「Jとしていた仕事内容と違って参考になった。今後も後輩たちのために継続して実施してください。」などの感想を聞くことができました。

長崎地本は、就職予定隊員と再就職協力企業とのかけはしとなり、退職予定隊員が安心して第2の人生をスタートできるように就職の援助を充実させていきます。

(援護課)

雇用企業様の声

株式会社日本ベネックス
業務課長

宮田 正二郎



宮田 正二郎 氏

○企業概要及び事業内容等
電機電子機器、大型映像装置、大型冷熱機器の設計製造、太陽光発電所の設計建設運営

○退職自衛官を採用するに至った経緯
関係会社に自衛隊OBが幹部社員で多く在籍していることから、自衛隊OBの採用を進めていった。

○退職自衛官の仕事内容
製造スタッフ、管理スタッフ

○退職自衛官の働きぶり
安全への意識が高く、誠実に業務に携わっています。経験不足、間違いはあるものの、同じ過ちは犯さない姿勢は今

後に期待が持てます。今後経験を積むことで業務に慣れています。

○その他
自衛隊時代の経験が直接生かせる業務ではないが、厳しい上下関係の経験から規則正しく指示に忠実なところは、さすが自衛隊OBと感心します。特に言葉使いは丁寧であり、社員の模範になるところです。



自衛隊家族会新上五島地区会 ボランティア活動 を支援

長崎地本上五島駐在員事務所（所長 赤波江博史陸曹長）は、11月8日（日）南松浦郡新上五島町において自衛隊家族会新上五島地区会（会長 森本利一様）が実施した除草作業ボランティア活動を支援しました。

これは、同地区会が活動の一環として、町内に所在する児童養護施設内の除草作業を毎年行っており、上五島所も微力ながらお手伝いさせていたというものです。

作業後には、施設長以下、職員の皆様や子どもたちからたくさんのお礼の言葉をいただき、地区会の皆様とともに清々しい気分を感じることができました。

上五島所は、引き続き地域住民や家族会の皆様と良好な関係を維持し、隊員募集活動へのご理解とご協力を得ていく所存です。
(上五島駐在員事務所)



教育隊修了者 所感

「佐世保教育隊、修業に際して」

海上自衛隊
一般曹候補生 前田 理名



この約5か月の間は、今まで生きてきた中で一番早い期間に

感じました。1日1日がとても充実し、初めて出来た同期と助け合いながら乗り越えて来ました。今まで体験したことのない防火訓練や戦闘訓練、小火器射撃など自衛隊に入隊しないと体験できないことができた本当に楽しかったです。

自衛隊は、「きつい」という印象ですが、「きつい」よりもずっと毎日一緒にいる同期と生活することがとても楽しく一生の思い出になると思います。

今は、当たり前同期ですが修業したら皆、離れ離れです。転勤族の自衛隊は、仕方のない事ですが、本当に同期に出会えてよかったなと心から思います。

人事

よろしく願います

【転入】

総務課へ
海曹長 嶋田 とも子
(大村航空基地隊)
以上 11月27日付



募集課へ

1等陸尉 野口 秀貴
(第19普通科連隊)
以上 12月1日付

